

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	現代文B	2単位	教科担当 者 塚田 尾崎
対象	第2学年		
教科書	新編 現代文B (東京書籍)		
副教材	新編現代文B 学習課題ノート (東京書籍) 現代文ウィニングクリア2 (尚文出版)		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。</li> <li>ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する。</li> <li>国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</li> </ul>
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	23	筆者のものの見方、考え方、書き表し方に着目する	「さくらさくらさくら」 俵万智	筆者の文体の特徴を味わう。
	5		語りの特徴を味わう	「ナイン」 井上ひさし	情景描写から登場人物の心情を読み取る。
	6		叙述に即して筆者の主張を捉える	「生命とは何か」 長沼毅	論理的な文章を読み、筆者の主張を読み取る。
	7		詩歌を味わう 短歌を味わう	「I was born」 吉野弘 「信濃路」	文種に応じて読み方を工夫する。 修辞の効果に着目しながら韻律を味わう。
2 学 期	9	30	小説の味わい方	「山椒魚」 井伏鱒二	心情の変に着目しながら、内容の描かれ方を味わう。
	10		論理の展開に着目する	「思考の肺活量」 鷺田清一	論理の展開に着目しながら筆者の主張を読み取る。
	11		ものの見方、考え方を広げる	「安心について」 廣淵升彦	評論の文体の違いを読み味わう。
	12		視点の設定と語りの構造に着目する	「こころ」 夏目漱石	心情の描かれ方に着目しながら物語の構造を捉える。
3 学 期	1	23	視点の設定と語りの構造に着目する	「こころ」 夏目漱石	心情の描かれ方に着目しながら物語の構造を捉える。
	2		考えを深める	「分からないからおもしろい」 木内昇	筆者の意見を読み取り、自分の考えを持つ。
	3				

評価	<p>(観点・方法)</p> <p>「読むこと」を主な評価の観点として、授業内で使用するワークシートへの取り組み状況、定期考査の結果、授業態度、出席状況、課題提出状況等を総合して評価する。</p>
----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	古典B	3単位	教科担当 者 塚田 倉部 平野
対象	第2学年		
教科書	新編 古典B (東京書籍)		
副教材	新編古典B学習課題ノート(東京書籍)、古典古文漢文ウィニングクリ ア2(尚文出版)、大学入試新古文単語336S(文英堂)		

目標	古典としての古文と漢文を読む力を養いながら感性を高め、思考力を深めながら古典に親しむ。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	31	説話に親しむ	十訓抄「大江山の歌」 古典文法	文法事項に注意して古文を読み解き、人物の面白さや内容を味わう。
	5		故事と小話	「糟糠之妻」 漢文句法	句法に注意して、漢文訓読に親しむ。
	6		物語を読む	竹取物語「火鼠の皮衣」 古典文法	文法事項に注意して読解し、登場人物の心情を読み解く。
	7		唐詩と文	「雑説」 漢文句法	句法に注意して読解し、鑑賞する力を養う。
2 学 期	9	33	日記を読む	更級日記「門出」「物語」 古典文法	文法事項に注意して読解し、筆者の心情に寄り添う。
	10		中国の思想	「人之性悪」 漢文句法	諸子百家の思想について、当時の時代背景を踏まえながら理解する。
	11		随筆を味わう	枕草子「ありがたきもの」 「雪のいと高う降りたるを」・古典文法	随筆の特徴を踏まえながら、筆者の考えを的確に把握する。
	12		史記を読む	「四面楚歌」 漢文句法	中国の歴史に触れ、当時の考え方を知る。
3 学 期	1	17	物語を味わう	源氏物語「光源氏の誕生」 古典文法	敬語表現に注意し、平安時代の宮中の状況を感じ取る。
	2		物語を味わう	源氏物語「若紫」 古典文法	現代と通じる登場人物の心情を読み取る。
	3		唐詩と文	「唐詩」 漢文句法	漢詩の基礎を確認し、作者の考え方に触れる。

評価	(観点・方法) 各学期の中間・期末試験の点数に加え、提出物・授業態度などにより目標への到達度を総合的に評価する。
----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	世界史A	2単位	教科担当 者 稲見
対象	第2学年 理系		
教科書	新版世界史A 新訂版 (実教出版)		
副教材	なし		

目標	近代を中心とする世界史について興味関心を高め、現代に成り立っている国際社会の背景と諸問題を理解する。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	18	一体化に向かう世界と日本	世界史の学び方	授業の受け方やノートのとり方を習慣づける
	5		一体化に向かう世界と日本	ルネサンス 大航海時代 宗教改革	ヨーロッパのそれぞれの革命がどのような影響を及ぼしたかを理解する。
	6		一体化に向かう世界と日本	絶対王政	絶対王政成立の過程を理解する。
	7		ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	産業革命	産業革命の社会的な影響について理解する。
2 学 期	9	20	ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	アメリカ独立革命 フランス革命	革命の過程を理解する。
	10		ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	フランス革命後の世界	ナショナリズムの芽生えから生じた諸革命を理解する。
	11		ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	アメリカの西部開拓と南北戦争、中華帝国の動揺	既習事項をもとに、南北戦争やアヘン戦争について理解を深める。
	12		現代世界のあゆみ	帝国主義と世界分割、国際関係の緊張と第一次世界大戦	ヨーロッパの対立構造をもとに、第一次世界大戦終戦までを理解する。
3 学 期	1	18	戦間期の世界	ヴェルサイユ体制 世界恐慌	国際協調の時代の様子を概観するとともに、世界恐慌からの大戦の流れを理解する。
	2		第二次世界大戦	満州事変から日中戦争へ 第二次世界大戦 太平洋戦争	沖縄、広島、長崎に触れながら、戦争が拡大していく様子を理解する。
	3		第二次世界大戦後の世界	現代社会の諸問題	現代社会の諸問題を意欲的に追究し、表現している

評価	(観点・方法) 定期考査、授業での発言、提出物などから総合的に判断する。
----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	世界史B	3単位	教科担当 者 黒川
対象	第2学年		
教科書	高校世界史B 改訂版（山川出版社）		
副教材	なし		

目標	世界史に関する興味関心を高め、国際社会の成り立ちの背景について理解させる。 諸外国の事象に関して興味を持って自ら学ぶ姿勢を養う。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	28	先史の世界 オリエントと地中海世界①	先史時代 オリエント文明 ギリシア世界	授業の受け方やノートのとり方を習慣つけさせる。
	5		オリエントと地中海世界② アジア・アメリカの古代文明	ローマ世界 インドの古典文明 東南アジアの諸文明	ローマの政治変遷史・キリスト教普及の様子を重視する。
	6		内陸アジア世界・東アジア 世界の形成	中国文明 東アジア文化圏の形成	唐までの中国王朝の変遷と日本への影響を理解させる。
	7		イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と展開	イスラーム帝国の成立 東西ヨーロッパ世界	イスラーム教がおこった原因を国際貿易路の変化などの世界史的背景を中心に理解させる。
2 学 期	9	27	内陸アジア世界と東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄	トルコ化とイスラーム化 モンゴル帝国	各地域の空間的なつながりを意識させ、世界史への理解を深めさせる。
	10		近世ヨーロッパ世界の形成 近世ヨーロッパ世界の展開	ヨーロッパの海外進出 ルネサンス・宗教改革 主権国家体制の成立	近代への歩みが世界の一体化と関連していることに注目させる。
	11		近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命 アメリカ独立戦争 フランス革命	近代国家への歩みを各国の諸革命を通して学ばせる。
	12		欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立 ヨーロッパの再編 南北アメリカの発展	自由主義・ナショナリズムの普及と各国の動向を関連させて理解させる。
3 学 期	1	19	アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立	帝国主義の拡大とそれに対する諸地域の抵抗を理解させる。
	2		二つの世界大戦	第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制 第二次世界大戦	日本の歴史と関連させ、太平洋戦争や沖縄戦にも触れる。
	3		冷戦と第三世界の独立 現在の世界	冷戦時代の国際関係 グローバル化の光と影	映像資料を活用する。 公民科と関連付ける。

評価	(観点・方法) 中間考査・期末考査、小テスト、課題、ノート、授業中の発言など、総合的に判断する。
----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科 目	現代社会	2 単位	教科 担 当 者
対 象	第2学年		
教科書	現代社会 (東京書籍)		
副教材	2021 新編 テーマ別資料 現代社会 (とうほう)		

目 標	変化の激しい現代社会の諸課題を的確に把握し、それらを主体的に学び考察・分析し、学んだことをまとめ、表現できる能力と態度を養う。
-----	---

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	わたしたちの生きる社会	地球環境問題 原発問題 など最近の話題	授業での学び方がわかる 現代社会の課題について興味・関心を高める
	5		現代社会と青年の生き方	青年期の発達課題 自己形成について 進路と生きがい	青年期の課題について理解することができる
	6		よりよく生きることを求めて	哲学 宗教 近代科学	善・悪、正・不正、徳など倫理的な概念を理解することができる
	7		よりよく生きることを求めて	人間の自由と尊厳 人間性の回復 日本の伝統思想	さまざまな思考実験について、幸福・正義・公正などの概念を使用して考察できる
2 学 期	9	28	民主政治とは	社会契約説 基本的人権の確立 世界の政治体制	民主政治の成り立ちやしきみについて基本的な知識を身につける
	10		日本国憲法の基本原理	三大原理 平等権、自由権、社会権	日本国憲法の三大原理と人権について理解を深める
	11		平和主義と安全保障	憲法の平和主義 オキナワのこと	平和主義の理念とわが国の戦争への反省を理解する
	12		1・2学期のまとめ	時事・一般常識問題 大学入試問題	これまでの知識を活用し、問題に意欲的に取り組める
3 学 期	1	16	日本の政治機構	国会・内閣・裁判所 地方自治	三権分立の機能、地方自治の仕組みについて基本的な知識を身につける
	2		現代政治の特質と課題	選挙のしくみ 法とはなにか	選挙権を行使する意味や司法に民意を反映させる意味について考えることができる
	3		ともに生きる社会をめざして	労働問題、社会保障問題、原子力発電などから選択	現代社会の諸課題を意欲的に追究・分析できる。

評 価	(観点・方法) ミニテスト、定期考査、発言、提出物などから総合的に判断する。
-----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	数学Ⅱ	4単位	教科担当 古賀 片山 三浦
対象	第2学年		
教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版)		
副教材	改訂版 Study-up ノート 数学Ⅱ (数研出版)		

目標	数学Ⅱの基礎をしっかりと身に付ける。進学に必要な生徒には応用力も付ける。
----	--------------------------------------

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	52	三角関数	一般角・弧度法・三角関数・三角関数の性質・三角関数のグラフ	図を通して三角関数のグラフなどを理解させる。
	5		三角関数	三角関数を含む方程式・不等式・加法定理 加法定理の応用	公式を使いこなせるように練習量を増やす。
	6		複素数と方程式	複素数とその計算・2次方程式の解・解と係数の関係	複素数の概念を理解し、公式を利用することができる。
	7		複素数と方程式 図形と方程式	剰余の定理と因数定理 直線・平面上の点 直線の方程式	公式の成り立ちを理解し、利用することができる。
2 学 期	9	56	式と証明	3次式・二項定理・整式の割り算	公式の成り立ちを理解し、利用することができる。
	10		式と証明	恒等式・不等式の証明	証明の手順をきちんと整理する。
	11		指数関数と対数関数	指数関数	指数の性質を理解し、グラフを書くことができる
	12		指数関数と対数関数	対数関数	対数の性質を理解し、グラフを書くことができる
3 学 期	1	32	微分と積分	導関数・導関数の計算・接線の方程式・関数の増減・関数の極大・極小	増減表でグラフがかけることに重点をおく。
	2		微分と積分	関数の最大・最小・方程式・不等式への応用 不定積分・定積分	増減表でグラフがかけることに重点をおく。微分と積分の関係性に注意させる。
	3		微分と積分	定積分と面積	積分の計算を通して積分で面積が求められることを学ぶ。

評価	(観点・方法) 定期考査、提出物、小テスト、授業への取り組み、補習への参加等を用いて評価する。
----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	数学B	3単位	教科担当 古賀
対象	第2学年 数学B選択者		
教科書	改訂版 新編 数学B (数研出版)		
副教材	改訂版 Study-up ノート 数学B (数研出版)		

目標	数列の意味について理解し、具体的な諸問題に応用することができる。 ベクトルの概念を理解し、図形的な問題に活用できる。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学期	4	39	ベクトル	有向線分とベクトル・ベクトルの加法・減法・実数倍	ベクトルの概念をイメージできるように指導する。図形的な解釈ができるようにする。
	5		ベクトル	ベクトルの成分・ベクトルの内積・位置ベクトル・ベクトルの図形への応用	ベクトルの計算を身につけさせる。内積の意味を図形的に解釈させる。位置ベクトルの扱いに習熟させる。計算方法に慣れさせる。
	6		ベクトル	ベクトル方程式・空間座標・空間のベクトル・ベクトルの内積・位置ベクトルと空間の図形	ベクトル方程式の扱いに習熟させる。3次元空間におけるベクトルを扱えるようにする。一次独立の概念をしっかりと理解させる。空間と平面の違いを明確にさせる。具体的な種々の問題に応用できるようにする。
	7		ベクトル 数学演習①	ベクトルのまとめ 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの演習	ベクトルのまとめをし、定着を図る。これまでの数学の内容を問題演習という形で行い、定着を図る。
2 学期	9	42	数列	数列・等差数列・等差数列の和・等比数列・等比数列の和	数列についての初歩的事項をきちんと理解させる。様々な数列に対して、その一般項を求めることができるようにする。
	10		数列	いろいろな数列の和と記号 $\Sigma$ ・階差数列と数列の和・漸化式	漸化式の扱いを習熟させる。漸化式を変形して一般項を求めることができるようにする
	11		数列	漸化式・数学的帰納法	数学的帰納法の概念を理解させる。帰納的考え方と演繹的考え方の違いを理解させる。
	12		数学演習②	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの演習	これまでの数学の内容を問題演習という形で行い、定着を図る。
3 学期	1	24	確率分布と統計的な推測	確率変数と確率分布・確率変数の平均と分散・確率変数の和と積・二項分布	確率変数と確率分布の理解を図り、平均や分散の計算ができるようにする。
	2		確率分布と統計的な推測	正規分布・母集団と標本・標本平均の分布・母平均の推定	特徴を持った分布を扱い、その特徴を理解させる。また、母集団と標本の概念を定着させる。
	3		数学演習③	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの演習	これまでの数学の内容を問題演習という形で行い、定着を図る。

評価	定期考査5回と毎回の宿題で評価する
----	-------------------

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	科学と人間生活	2単位	教科担当 小野
対象	第2学年 文系		
教科書	新 科学と人間生活 (数研出版)		
副教材	新 科学と人間生活 整理ノート (数研出版)		

目標	科学的現象に興味・関心をもって、自ら考え、理解できる科学的思考力を養う。 看護医療系・栄養系などへの進学に対応できる基礎力をつける。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	20	ガイダンス 金属	授業の受け方 金属の単体, 金属の特徴 身近な金属, 金属の腐食 とその防止	歴史的な視点からも金属が文明の発展にどのように貢献してきたかを知る
	5		プラスチック 衣類	プラスチックの性質 身近なプラスチック	プラスチックの特徴や性質, 日常生活での利用に関して知る
	6		生物と光 微生物とその利用	植物・動物・ヒトと光	生物における光の役割を知る
	7		微生物とその利用	微生物と人間生活 生態系での微生物の働き	食品中の微生物の有効利用を学ぶとともに、腐敗や自然界の浄化の役割を知る
2 学 期	9	26	熱の性質とその地用	熱と温度 熱と仕事 エネルギー	熱やエネルギーというという見えない概念を理解する
	10		光の性質とその利用	光波の性質	波としての光を知る
	11		生徒実験	物理・化学実験	実験・観察を通して科学的思考力を養う
	12		生徒実験	生物・地学実験	実験・観察を通して科学的思考力を養う
3 学 期	1	12	自然景観と自然災害	地球の概観・成り立ち	地球の概観や自然災害等についての理解を深める
	2		太陽系における地球	天体と地球の運動	さまざまな天体についての知識や関心を実験や観察を通して深める
	3		課題研究	科学が人間生活に与える影響	科学技術と実生活の結びつきに関して考え、まとめる

評価	(観点・方法) 定期考査得点・課題提出・実験レポート・実験に対する貢献度・出席状況などをもとにして総合的に評価する。
----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	物理基礎	2単位	教科担当 者  小野
対象	第2学年 理系		
教科書	新編 物理基礎 (啓林館)		
副教材	ステップアップノート物理基礎 (啓林館)		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を通して身の回りの自然現象が、物理学の法則に従っていることを理解させる。</li> <li>実験・観察により自然科学への関心、探究心を養う。</li> </ul>
----	--

学期	月	時間	単元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	22	運動と力 ・ 物体の運動 ・ 力と運動の法則	速さ・加速度 等加速度直線運動、自由落下	日常起こる運動の例を挙げながら、観察・実験等を通して力と運動について考える
	5			力の合成・分解 運動の法則	力を図示できるようになる
	6		運動と力 ・ 運動方程式の応用 エネルギー ・ 仕事と力学的エネルギー	運動方程式の立て方 いろいろな運動 運動エネルギー 位置エネルギー 仕事と仕事率 力学的エネルギー保存の法則	運動方程式を理解する エネルギーという見えない概念を獲得する
	7				
2 学 期	9	26	熱とエネルギー ・ 熱とは何か ・ 熱量 ・ 熱の利用	熱 熱量、比熱	熱という概念を理解する
	10			熱量保存 熱機関	エネルギーとしての熱を学習する
	11		波とエネルギー ・ 波の伝わり方 ・ 波の性質 ・ 音波、光波	波の位相 波の独立性 重ね合わせの原理 波の反射 振動	実験・観察を通して波の性質を理解する
	12				
3 学 期	1	11	電気とエネルギー ・ 静電気 ・ 電流	電荷、電気量 電流 磁界	電気の正体について実験・観察を通して理解する
	2		エネルギーとその利用	再生可能エネルギー 放射線	実生活における物理学の利用を学ぶ
	3				

評価	(観点・方法) 定期考査、提出物、実験レポート、課題等について総合的に評価する
----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	化学	3単 位	教科 担当 者	西村 幸也
対象	第2学年（必修選択者）			
教科書	改訂版 新編 化学（東京書籍）			
副教材	改訂版 スクエア最新図説化学（第一学習社） ニューサポート新編化学（東京書籍）			

目標	より深く化学的現象をとらえ、自ら考え、理解できる科学的思考力を養う。 大学理系への基礎学力を養う。実験の意味・目的を理解させることに注意する。
----	--

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	3 9	光とエネルギー 酸化還元反応と金属のイオン化傾向	物質の三態と状態変化 溶解平衡	圧力の理解、ボイル・シャルルの法則の理解
	5		第2章溶液の性質 希薄溶液 コロイド	溶質の分子量 浸透圧	溶解度、コロイドの性質の理解。
	6		第3章固体の構造 固体と結晶 結晶の構造	金属結晶のモデル イオン半径 アモルファス	イオン半径の計算等計算問題に習熟する。
	7		第3章固体の構造 結晶の構造	金属結晶の構造	構造と密度の関係を理解する。
2 学 期	9	5 0	第1章化学反応と熱・光 反応熱と熱化学方程式 ヘスの法則	発熱反応と吸熱反応 ヘスの法則	ヘスの法則を理解する。 エントロピーには触れない。
	10		光とエネルギー 第2章電池と電気分解 電池	ルミノール反応 金属のイオン化傾向 いろいろな電池	光触媒にも触れる。 酸化還元反応との関連に注意する。
	11		水溶液の電気分解 化学反応の速さと平衡	いろいろな電気分解 ダニエル電池とボルタ電池	電池を作って酸化還元の意味を理解する。
	12		第1章化学反応の速さ 化学平衡	反応の条件 反応のしくみ	ル・シャトリエの法則 平衡の移動の条件に注意する。
3 学 期	1	1 6	電解質水溶液の平衡 無機物質 非金属元素	電離平衡 水の電離平衡とpH 塩と化学平衡	平衡の問題演習により平衡定数、電離定数を理解する。
	2		典型金属元素	非金属元素の性質 金属元素の性質	代表的な非金属元素の性質を理解する。
	3		遷移元素	遷移元素の性質	代表的な金属元素の性質を理解する。

評価	(観点・方法) 定期考査得点・実験レポート・授業プリント・小テストの得点・課題提出・出席状況などをもとにして総合的に評価する。
----	--

科目	生物	3単位	教科担当 者  柏倉正伸
対象	第2学年（必修選択者）		
教科書	改訂版 生物（数研出版）		
副教材	リード light ノート生物（数研出版） スクエア最新図説生物 neo 八訂版（第一学習社）		

目標	さまざまな生命現象に関する学習を通し、生物に対する理解を深める。
----	----------------------------------

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	52	第1章 細胞と分子	1. 個体・細胞・分子 2. タンパク質の構造と性質 3. 酵素のはたらき 4. 細胞の構造とはたらき 5. 細胞の活動とタンパク質	細胞を構成する物質について学習する。細胞活動においてタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解させる。
	5		第2章 代謝	1. DNA の構造と複製 2. 呼吸と発酵 3. 光合成 4. 窒素同化	「生物基礎」で概要を学習した呼吸・光合成について、その詳細なしくみを理解させる。呼吸においては、各過程の反応を学習する。
	6		第3章 遺伝情報の発現	1. DNA の構造と複製 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝子の発現調節 4. バイオテクノロジー	「生物基礎」で学習した DNA の構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解させる。
	7		第4章 生殖と発生	1. 遺伝子と染色体 2. 減数分裂と遺伝情報の分配 3. 遺伝子の多様な組み合わせ 4. 発生	染色体に遺伝子が存在することを学習した上で、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解させる。
2 学 期	9	56	第5章 動物の反応と行動	1. ニューロンとその興奮 2. 刺激の受容 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動	刺激の受容に関しては視覚器と聴覚器を中心に取り上げ、効果器に関しては筋肉を中心に取り上げる。
	10		第6章 植物の環境応答	1. 植物の反応 2. 成長の調節 3. 花芽形成と発芽の調節	植物は成長を調節して環境に応答していることを理解させる。環境応答には様々な植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。
	11		第7章 生物群集と生態系	1. 個体群 2. 個体群内の個体間の関係 3. 異種個体群間の関係	生物群集はさまざまな個体群の集まりによって構成されており、生態系内で特定の役割を果たしていることを理解させる。
	12		第7章 生物群集と生態系	4. 生物群集 5. 生態系における物質生産 6. 生態系と生物多様性	生物多様性に影響を与える要因を理解させ、生物多様性の重要性を認識させる。
3 学 期	1	32	第8章 生命の起源と進化	1. 生命の起源 2. 生物の変遷	生命の誕生や生物の変遷は、地球環境の変化と密接に関係していることを理解させる。
	2		第9章 生物の系統	1. 生物の分類と系統 2. 原核生物 3. 原生生物	生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。
	3		第9章 生物の系統	4. 植物 5. 動物 6. 菌類	個々の分類群については、その概要を学習する。

評価	(観点・方法) 試験、授業態度、実験態度、実験レポートにより総合的に評価する。
----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	体育	2単位	教科担当者 長篠・下村・秋澤
対象	第2学年 男女		
教科書	大修館書店 現代高等保健体育		
副教材			

目標	計画をもとにした活動から課題を見つけ、次の活動に工夫して生かすことができるようになる。 周囲と協力して安全に練習を行なえるようにする。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	体づくり運動	体力を高める運動	個人の能力に応じて指導する。
	4 5 6		種目選択 サッカー・バレーボール	グループ学習 順番に計画をたててリーダーになり、協力して活動する。	計画をもとにグループで協力しながら活動できる。
	6 7		水泳	背泳ぎ	スタート台を使ったスタートは行わせない。
2 学 期	9	28	水泳	バタフライ	スタート台を使ったスタートは行わせない。
	10 11		種目選択 バレーボール・アルティメット	グループ学習 順番に計画をたててリーダーになり、協力して活動する。	前回の活動での課題やメンバーの意見を計画に生かし、協力しながら活動する。
	11 12		種目選択 バスケ・ソフトボール 体育理論	グループ学習 協力して活動する。	
3 学 期	1 2	16	持久走 マラソン大会	男子 3 km 女子 2.4 km マラソン大会 (女子 6Km 男子 10 km)	個々に適した走法で体調、体力、に配慮して走らせる。
	3		バスケットボール サッカー 体育理論	グループ学習 計画をたて、リーダーを中心に活動する。	安全に活動するための工夫をしながら、戦術を中心に計画し活動する。

評価	水泳、持久走、マラソン大会、各単元でのテストノート、関心・意欲・態度、出欠・見学 等 ※水泳、持久走、マラソン大会の補講は必ず受ける必要があります。
----	---

科目	保健体育（柔道）	1単位	教科担当者	長篠 優二
対象	第2学年 柔道 選択者			
教科書	大修館書店 現代高等保健体育			
副教材				

目標	柔道の特性を理解し、礼法・受身などの基本動作を適切に行えるようにする。 安全に配慮し、互いに協力して練習が行えるようにする。
----	---

学期	月	曜日	単元	内容	具体的な指導目標
1 学期	4	13	柔道	1年次の復習 固め技	既習の技と受身を丁寧におこなう。
	5		柔道	投げ技 (大腰、膝車)	相手の動きを利用して技をかける
	6		柔道	投げ技 (払い腰、支え釣り込み足) 審判法	安全に配慮して練習する。 相手の動作を利用して技をかける。
	7		柔道	評価	投げ技ができているか
2 学期	9	14	柔道	約束練習 乱取	各自が得意技を作るようにする
	10		柔道	試合練習 (審判)	ルールを理解し、真剣な態度で試合ができるようにする。
	11		柔道	試合 (審判)	無理な体勢で投げないようにする。安全への配慮をおたがいにできるように心がける。
	12		柔道	評価	動きに応じて技がかけられるか
3 学期	1	8	柔道	試合	ルールを理解し、真剣な態度で試合ができるようにする。
	2		柔道	試合	安全に注意して乱取りをおこなう
	3		柔道	評価	乱取り評価
評価	受身、投げ技、固め技の技能の習熟程度はどうか。試合成績。授業に取り組む姿勢はできているか。 相手を尊重し安全に注意して練習に取り組んでいるか。出席状況はどうか。				

# 令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	体育	1 単位	教科担当 秋澤 風作
対象	第2学年 剣道 選択者		
教科書	大修館書店 現代高等保健体育		
副教材	大修館書店 現代高等保健体育 図説		

目標	運動技能の基礎・基本の実践と健康の保持増進及び体力の向上をはかる。
----	-----------------------------------

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	13	オリエンテーション	剣道の特性	剣道の特性を理解させる。
	5		基本動作	礼法 構え 体さばき 各種素振り	互いに協力して、相手を尊重し、 また、礼儀正しく行う態度を育てる。
	6		技の練習	基本打突	繰り返し行うことにより正しい 動作を身につけさせる。
	7		技の練習	基本打突	繰り返し行うことにより正しい 動作を身につけさせる。
2 学 期	9	14	基本動作	1 学期の復習	前期の復習を行う。
	10		基本動作 技の練習	切り返し しかけ技 1	切り返しおよびしかけ技を身に 付けさせる。
	11		技の練習	しかけ技 2	切り返しおよびしかけ技を身に 付けさせる。
	12		技の練習	しかけ技 2	切り返しおよびしかけ技を身に 付けさせる。
3 学 期	1	8	基本動作		前期の復習を行う。
	2		技の練習 基本の試合	切り返し・しかけ技に よる基本試合	勝敗を競う楽しさを味わわせる。
	3		基本の試合	切り返し・しかけ技に よる基本試合	勝敗を競う楽しさを味わわせる。

評価	学期ごとのテスト、関心・意欲・態度 出欠・見学
----	----------------------------

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	体育	1単位	教科担当者 下村
対象	第2年生 ダンス 選択者		
教科書	大修館書店 現代高等 保健体育		
副教材			

目標	運動技能の基礎・基本の実践と健康の保持増進及び体力の向上をはかる。
----	-----------------------------------

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	13	オリエンテーション	ダンスの構成要素について	ダンスの構成要素について理解させる。
	5		リズムダンス	体ほぐし運動 課題曲による部分創作	課題曲にあわせてグループで振り付けをする
	6				
7	民舞（日本）	発表 鑑賞会	お互いの良さを認め合い、評価するよう指導する		
2 学 期	9	14	民舞（世界）	グループでのフォーメーション創作 発表 鑑賞会	協力して創作するように助言する お互いの良さを認め合い、評価するよう指導する
	10				
	11		集団でのダンス	グループによる部分創作活動	協力して創作するように助言する お互いの良さを認め合い、評価するよう指導する
12					
3 学 期	1	8	創作ダンス	グループによる創作活動	自分なりのイメージを持って表現を楽しむような場を作る。
	2		創作ダンス	グループによる創作活動	ユニゾン・カノン・シンメを入れて創作する。
	3		創作ダンス	発表 鑑賞会	自分なりのイメージを持って表現を楽しむような場を作る。

評価	班員と協力して活動ができているか（観点・方法） 表現する喜びを味わうことができているか。 自己の創造力を活かした創作ができているか。 感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりすることができているか。 自分なりのイメージを持ち、それを表現しているか。
----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	保健	1 単位	教科担当 者 長篠
対象	第2学年		
教科書	大修館 現代高等保健体育		
副教材	大修館 現代高等保健 図説		

目標	個人及び社会生活における健康について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を管理し改善できる力をつける。
----	--

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	13	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択	思春期における体と心の大きな変化について理解を深めるとともに、男女間の性意識の違いを知り、性に関する適切な意志決定・行動選択ができるようにする。
	5		生涯を通じる健康	結婚生活と健康 妊娠・出産と健康	結婚とその後の結婚生活をよりよく過ごすためにはどうしたらよいか、また新しい命を育む上で重要となる妊娠・出産期を健康的に過ごすにはどのような事項に注意したらよいかを学び、生涯のパートナーとの相互理解をはかることの重要性を理解する。
	6 7		生涯を通じる健康	家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取組み	すべての子どもが望まれて生まれてくる子であるために、計画的に子どもを産み育てる方法と、望まない妊娠・出産が起きた場合の問題点についても理解を深める。また、世界有数の長寿国となっている日本において、中高年期をよりよく過ごすための工夫を学ぶ。
2 学 期	9 10	14	生涯を通じる健康	保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策	医薬品の種類と正しい使い方について理解する。私たちの健康づくりのために、国の枠を越えた世界規模の保健活動や対策がとられていることを知る。
	11 12		社会生活と健康	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染についてそれぞれ理解を深め、人々の健康面の問題と合わせて考える。
3 学 期	1 2	8	社会生活と健康	環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業計画	ごみ処理・上下水道整備・し尿処理といった環境衛生活動と、食品の安全を守る食品衛生活動についてそのしくみと具体的な対策について学ぶ。また労働が原因で起こるけがや病気を防止するためにどのような対策がとられているかについても学び、健康的な職業生活を送る上での取り組みや余暇の活用のしかたを知る。
	3		まとめ	1年間の学習を振り返る。	

評価	(観点・方法) 期末考査、提出物、レポートへの取り組み、出欠状況、平常の授業態度などを総合的に判断する。
----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	芸術・音楽Ⅱ	2単位	教科 担当 者	古城 利史
対象	第2学年			
教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)			
副教材	高校生のための 音楽研究ノート			

目標	音楽の諸活動を通して、個性豊かな表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めると共に、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	歌唱の基礎	音符に慣れる。	音符の長さの違いを歌いながら理解できるようにする
	5		聴音、校歌	校歌を覚える。	音の違いを歌いながら聞き取る
	6		外国語歌曲	イタリア歌曲「Caro mio ben」	発声や響きに注意しながら、歌唱する。
	7		映画ミュージカル	ミュージカルの内容を理解する。	ミュージカルとは何かを知る
2 学 期	9	28	2部合唱 アンサンブル	野ばら 「クラッピングカルテット」	休符に注意し、自分のパートに責任を持つ
	10		2部合唱 アンサンブル	野ばら 「クラッピングカルテット」	グループでの完成度を高める
	11		器楽	合唱曲 ギター	楽器の仕組みを理解し演奏する
	12		器楽	合唱曲 ギター	合奏する難しさや楽しさを味わう
3 学 期	1	16	楽典	音程を学習する	音程を理解できるようにする
	2		楽典	音階と調	演奏に必要な知識を得る
	3		映画ミュージカル	ミュージカルの内容を理解する	ミュージカルとは何かを知る

評価	(観点・方法) 実技教科のため、普段の取り組みへの授業態度も平常点として加点する。 歌唱や器楽など実技テストを行う。
----	---

科目	美術Ⅱ	2単位	教科担当者 大竹
対象	第2学年		
教科書	高校美術2		
副教材	なし		

目標	<p>1 創造的な表現活動に必要な知識・技能を習得し、各自の制作に積極的に生かしていくことができる。</p> <p>2 社会や自己を深く見詰め、個性豊かな主題を生成させる。</p> <p>3 鑑賞の能力を伸ばし、作品に対する自己の考えを積極的に発表できるよう言語活動を取り入れるとともに、美術作品や美術文化を大切にする姿勢を育成する。</p>
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	文化祭ポスター	1. 日本の名ポスターを鑑賞し、表現の特徴と良さを味わう。 2. 資料の活用方法を学び、多様に展開させる。 3. 構成や配色、技法を工夫し、訴求力の高いポスターを制作する。	・ポスターのねらいと表現の特徴について気づかせる。 ・各自の視点、感性で選んだ資料を準備させる。 ・効果的な構成を検討させる。 ・配色とイメージについて考え、各自の表現に応じた配色を工夫させる。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	28	言葉で描く	1. 詩や文章から描くことの変化に興味関心を持つ。 2. 資料を活用してアイデアを練る。 3. 形の加工とともに取り扱う道具も工夫して原型を制作する。	・地域や環境、時代等の違いによる表現の特色を知り、他人の作品に対する生徒の興味関心を高める。 ・アイデアを展開することで多様な制作方法を導き出す。 ・道具の安全で効果的な使用を習得させる。
	10				
	11		古典から現代アート	古典から現代までの作品を鑑賞し、作品の内容と良さ、多様性を積極的に味わっていく。	・作品の内容や技法、時代と地域、作者についてなど、自らの考えや調べた内容を発表することを通して、主体的な鑑賞の姿勢を育てる。
	12				
3 学 期	1	16	鉛筆で描く	1. 鉛筆の使い方と生かし方 2. 形体・色・質感・立体感・空間の表現 3. 自他の作品の良さを味わう	・鉛筆の削り方、安全なカッターの使い方について理解させる。 ・各自の見た印象を生き生きと表現させるよう留意する。
	2				
	3				

評価	<p>(観点・方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業の学習状況と提出作品で各学期の評価を行う。</li> <li>・美術の観点別学習状況の評価を利用する。</li> </ul>
----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	書道Ⅱ	2単位	教科担当者 大河原 達也
対象	第2学年		
教科書	書道Ⅱ (教育出版)		
副教材	くらしのペン習字 (教育出版)		

目標	古典作品の臨書・鑑賞により、様々な運筆法・表現法を習得する。 書を表現することを楽しめるようにする。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	楷書の学習	皇甫誕碑の臨書	楷書の基本点画、運筆法・表現法を指導。楷書の応用。
	5		篆書の学習	泰山刻石の臨書	篆書の基本点画、運筆法・表現法を指導。
	6		文化祭用作品制作	楷書・行書の表現	生徒一人ひとりの個性を表現できるようにする。
	7		篆刻の学習	姓名印を作る	篆刻学習を通し、落款の大切さも理解させる。
2 学 期	9	28	草書の学習	十七帖の臨書	草書の基本点画・運筆法を指導。
	10		草書の学習	書譜の臨書	草書の基本点画・運筆法を指導。
	11		隸書の学習	乙瑛碑の臨書	隸書の基本点画・運筆法を指導。
	12		行書の学習	祭姪稿の臨書	行書の基本点画・運筆法を指導。行書の応用。
3 学 期	1	16	仮名の学習	高野切第一種臨書	古典作品を臨書させることで、余白・連綿の美しさも理解させる。
	2		仮名の学習	高野切第三種臨書	古典作品を臨書させることで、余白・連綿の美しさも理解させる。
	3		漢字仮名交じりの書の学習	自分の心の中を表現	心の中と表現したものが一致するよう指導する。

評価	(観点・方法) 様々な表現の特徴を理解し、また表現できているか。作品・授業態度・出欠で評価する。
----	---

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	4 単位	教科 担当 者
対 象	第2 学年		
教科書	All Aboard! English CommunicationⅡ (TOKYO SHOSEKI)		
副教材	All Aboard! ワークブック (東京書籍) Fast Reading Primary stage3 (文英堂) キクタン Entry (アルク) キクタン Basic (アルク) LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR 25 ラーナーズ英文法 LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR 25 ラーナーズワーク		

目 標	「読む、聴く、書く、話す」の4技能を総合的に身につける。また、異文化理解に努める。 基本的な文法を理解し、身近な話題について英語で表現できるようにする。
-----	---

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	33	Lesson 1 Fantastic Festivals	世界の祭りについて	比較級、最上級
	5		Lesson 2 Dancing with Freedom	菅原小春さんの話	関係代名詞 what
	6		Lesson 3 The Sprit of the Forest	森の精霊ヤマネの話	間接疑問文
	7		Lesson 4 Living with Robots	ロボットと未来	分詞
2 学 期	9	41	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	歌舞伎メイクの物語	不定詞
	10		Lesson 6 A Microcosm in the Sea	海の中の小宇宙	動詞の目的語になる if 節
	11		Lesson 7 Happiness through Hula	フラガールの話	知覚動詞
	12		Lesson 8 Magic of the cotswolds	コッツウォルズの魔法	関係副詞
3 学 期	1	31	Lesson 9 Bitter truth about chocolate	甘いチョコレートの苦い現実	使役動詞
	2		Lesson 10 Designing for peace	デザインで世界を変える	分詞構文
	3		Reading	アニマルセラピー	長文読解 まとめ

評 価	(観点・方法) 定期考査の得点と平常点 (ノート等の提出物、課題、単語テスト、ALT の授業での発表等、授業態度等) により評価する。
-----	--

令和3年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	家庭総合	2単位	教科担当 多川 春代
対象	第2学年		
教科書	新家庭総合 パートナーシップでつくる未来 (実教出版)		
副教材	2021生活学Navi (実教出版)		

目標	家庭生活の充実向上に図る能力と実践的な態度を育てるとともに、社会の中の自分を常に意識し、家庭科で学んだ知識、技術を応用発展させて課題解決をはかれるようにする。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学期	4	26	1編1章 自分らしい生き方	家庭総合を学ぶにあたって 自立した生き方	なぜ学ぶのか、どのように学ぶのかを知る。
			2編2章 衣生活をつくる	人が衣服を着る理由 世界各国の伝統的衣装の特徴	衣服が果たしている役割を知る。 世界の民族衣装を調べる。
			2編2章 衣生活をつくる	衣服の素材 衣服製作 エプロン製作実習	衣服材料について知る。 普段着ている衣服の原産国を調べる。 衣服製作の知識を身につける。
			2編2章 衣生活をつくる	衣服製作 エプロン製作実習 衣服の管理	衣服の手入れについて知る。 衣服製作の知識を身につける。
	7		2編2章 衣生活をつくる	期末考査 夏休みの課題について	夏季休業中の課題について説明する。
2 学期	9	28	2編1章 食生活をつくる	人と食物のかかわり 私たちの食生活	食文化の形成について知る。 自分の食生活を見直す。
			2編1章 食生活をつくる	栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 調理実習	体に必要な栄養素を知る。 食の安全性について考える。 調理の基本を学ぶ。
			2編1章 食生活をつくる	食事の計画と調理 調理実習	自分が食べるべき量を知る。 調理の基本を学ぶ。
			2編1章 食生活をつくる	期末考査、 冬休みの課題について	冬季休業中の課題について説明する。
3 学期	1	16	3編1章 消費行動を考える	契約について、クレジットカードについて 悪質商法	最近増えている悪質な商法について具体的に学ぶ。正しい契約について理解する。
			3編2章 経済的に自立する	家庭の経済、独立して暮らす	家計について知り、予算を立てる。 一人暮らしについての知識を理解する。
			まとめ	学年末考査、1年間のまとめ	1年間を振り返る。

評価	(観点、方法) 期末考査(各学期1回)、作品、授業プリント、実習レポート、課題レポート、授業の取り組みなどを総合的に評価する。
----	--

令和3年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画 [2学年]

1 単位時間の時間 ( 50 ) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	オリエンテーション	・「総合」の年間学習計画や指導方針を理解させる。	[評価の観点] 進路先調査に対する意欲・関心・態度、思考・判断・表現、知識・理解 [評価資料] 小論文、講演会・職業講話の感想文、進路先調査への取組み状況、体験入学報告書等	1
	5	進路について考える	・進路講演会による指導。 ・小論文作成、添削指導。 ・職業講話による指導。 「働きがい・生きがいとは」		3
	6	進路について調べる①	・進路別に班を編成させる。 ・進路別班活動Ⅰ 進路先の調査指導。 調査結果のまとめ指導。 ・進路ガイダンスによる指導。		5
	7	上級学校体験入学①	・体験入学先の選定指導。 ・体験入学の実施と報告書の作成指導。		4
2	9	進路について調べる②	・進路別班活動Ⅱ 大学等の入学試験方法、受験科目等の調査方法指導。 インターネット、図書館、進路室の活用指導。 ・3年自由選択講座の説明会 ・進路説明会での詳細な科目の説明と個別指導。 ・選択科目の最終選定指導。 ・体験入学先の選定指導。 (7月とは異なる体験先を選択させる)	[評価の観点] 自己の進路決定に対する意欲、思考・判断 [評価資料] 班活動への取組み状況、体験入学報告書等	5
	10	進路の選択			5
	11	上級学校体験入学②			4
3	1	視野を広げる	・体験入学の実施、報告書の作成指導。 ・クラス、班単位によるグループ学習指導。 ・各人の進路希望について、今までの調べを報告書にまとめさせる。	[評価の観点] 調べ学習への関心・意欲・態度、知識・理解、表現 [評価資料] グループ学習への取組み状況、報告書、作文	6
	2				
	3	まとめ	・1年間の学習を振り返り、自分の進路について考えをまとめさせる。		2
配当時間数の合計					35

2 学年

令和 3 年度オリンピック・パラリンピック教育の年間指導計画

学期	月	教科・科目等	内容	配当時間
1	4	国語	様々な文章を読むことにより、日本の言語文化に対する理解を深める 速さ・加速度、等加速度直線運動を学ぶ	2
		理科		2
	5	家庭	世界各国の伝統的衣装から衣の特徴を知り、参考にして作成する 体育祭の企画・運営を学び実践にいかす	2
		特別活動 保健体育		2
	外国語	武道「柔道・剣道」武道の精神をもとに日本の伝統文化・特有の作法に習熟する 「ダンス」リズムに応じた体の使い方を学ぶ JET・ALT を通じて、異文化理解に努める	2	
2	9	理科	仕事と力学的エネルギー 世界各国の主要な食事を学ぶ	2
		家庭		2
	10	保健体育	世界各国の健康被害を知る	2
3	1	地理歴史	第二次世界大戦後の世界 持久力を高める運動の実際 マラソン大会の企画・運営を学び実践にいかす	2
		保健体育		4
		特別活動		2
	2	特別活動	学業と進路 日本と海外の環境衛生活動	2
		保健体育		2
	3	国語	近代の短編作品を読解することで、言語文化を理解する 21世紀、現代社会の諸問題 武道・ダンスの発表等を授業内で運営する	2
地理歴史		2		
保健体育		1		
配当時間数の合計				35